

第3次みどりの風吹くまちビジョンを策定 令和6~10年度の取り組み

より豊かな区民生活を目指して

詳しくは
区ホームページ▶



区は、「ランドデザイン構想」で示した将来像の実現に向けた新たな総合計画「第3次みどりの風吹くまちビジョン(以下「第3次ビジョン」)」の策定を進めており、昨年12月に素案を公表しました。ランドデザイン構想への道筋を示す基本計画と、具体的な実行計画であるアクションプランの2部で構成されます。今回、素案に寄せられた皆さまからのご意見を踏まえ、第3次ビジョンの「基本計画」とアクションプランの「戦略計画」「年度別取組計画」を策定しました。

問合せ 企画課 ☎5984-2448 FAX 3993-1195

柱1 子どもたちの笑顔輝くまち

Pick up!

都児相設置にあわせた児童相談体制の強化

都は今年度、(仮称)東京都練馬児童相談所を、区の子ども家庭支援センターと同じ施設内に設置します。広域的・専門的機能を担う都と、地域に根差したきめ細かい支援を担う区の連携をさらに深め、児童相談体制「練馬区モデル」を強化します。



▲子ども家庭支援センター

子どもの一時的な預け先の選択肢の拡大

- 地域子ども家庭支援センター内で乳幼児一時預かり事業を拡充し、石神井公園駅南口西地区でも開始に向けた調整を実施
- ベビーシッターの利用料を助成

障害児など支援が必要な子どもたちへの取り組みの充実

- 保育園や幼稚園、学童クラブ、学校で、障害児や医療的ケア児の受け入れ体制を拡充
- 表面化しにくいヤングケアラーを早期に発見し、支援につなげる取り組みを推進
- 増加傾向にある不登校児童生徒の支援体制を強化



柱2 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

Pick up!

高齢者の生活を支える相談支援体制の強化

今年度から、日常生活圏域(※)を4地区から、地域包括支援センターと同じ27地区とします。支援が必要な高齢者を地域で活動する団体などへつなぐ、生活支援コーディネーターを各地区に1名配置します。
※区市町村が定める、介護サービスなどがおおむね30分以内に提供される範囲のこと。



区内初となる介護医療院の整備

- 7年度の開設を目指し、練馬光が丘病院跡施設を活用して医療・介護の複合施設の整備を推進
- 医療ニーズが高く、特別養護老人ホームでの受け入れが困難な方に対して、医療・介護・看取り・ターミナルケアなどを行う区内初の介護医療院を整備



▲旧練馬光が丘病院

高齢者みんな健康プロジェクトの拡充

- 保健師などの専門職を増員し、ハイリスク高齢者への個別支援を強化
- 練馬区薬剤師会と連携して、服薬指導・健康相談を個別訪問などで実施

柱3 安心を支える福祉と医療のまち

Pick up!

医療的ケアが必要な障害者を支援する多機能型施設の誘致

5年度に取得した三原台2丁目用地に、通いの場やショートステイを備えた多機能型施設を誘致するなど、医療的ケアが必要な障害者への支援を充実します。



順天堂練馬病院の新病棟整備を支援

- 災害時の応急処置の対応スペースや備蓄物資の保管場所、感染症患者の隔離スペースなどを確保
- 増床に向けた調整を進め、医療提供体制を強化



▲順天堂練馬病院

ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実

- 4年度に実施したひとり親家庭ニーズ調査の結果を踏まえ、自立に向けた支援策をさらに充実
- 希望する地域で仕事と育児を両立できるよう、転宅費用の助成やホームヘルプサービスを充実

柱4 安全・快適、みどりあふれるまち

Pick up!

災害リスクに応じた「攻めの防災」の加速化

密集住宅市街地整備促進事業実施地区や防災まちづくり推進地区での丁寧な周知のほか、道路拡幅や建築物の不燃化、危険なブロック塀の撤去など「攻めの防災」の取り組みを加速します。桜台東部地区は、地区計画の策定や道路整備に向けた取り組みなどを進めます。



大江戸線延伸の実現へ

- 基金を計画的に増額し、沿線のまちづくりを進めるなど、早期事業着手に向け都とともに取り組みを推進



みどりの拠点となる大規模な公園づくり

- 第一期事業認可の取得を目指し、稲荷山公園の段階的な整備の検討を推進
- 大泉井頭公園の基本計画策定に向けた検討を推進

柱5 いきいきと心豊かに暮らせるまち

Pick up!

美術館・貫井図書館の全面リニューアル

「まちと一体となった」「本物のアートに出会える」「図書館と融合する」という新しい発想により、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが楽しめる美術館・図書館にします。10年度に開館する予定です。



石神井松の風文化公園の拡張整備

- 8年度の開設を目指し、フットサル・テニス兼用コートやスケートボードなどができる広場を整備



▲石神井松の風文化公園

輪になる「お店」TRYサポートの実施

- 個々の商店街活動の枠を超えて、商店会同士や民間企業などと連携する取り組みや、個店同士が取り組むイベントへの補助を開始
- 空き店舗への誘致活動を支援し、魅力ある商店街を創出

柱6 区民とともに区政を進める

Pick up!

ねりま協働ラボの実施

区と地域課題に取り組む団体やアイデアを募集するとともに、町会・自治会や、NPO法人、ボランティア団体などがコラボして取り組むプロジェクトを支援し、地域活動への新たなチャレンジを後押しします。



町会・自治会の相談体制の強化

- 町会・自治会の状況に合わせたきめ細やかな支援を行うため、課題解決に向けた助言を行うコンサルタントの派遣などにより相談体制を強化

手続き・相談のオンライン化の推進

- 場所や時間を問わず、パソコンやスマホから手続き・相談ができるよう、オンライン化を推進
- デジタルを活用して書かない窓口を実現
- 利用者からの問い合わせにAIが対話形式で応答するチャットボットの対応分野を拡大



多くのご意見ありがとうございました

区民意見反映制度により、区民の皆さまから多くのご意見(538件(149名・25団体))をいただきました。ご意見や区の考え方、ビジョンの全文は、区ホームページや区民事務所(練馬を除く)、図書館(南大泉図書館分室を除く)、区民情報ひろば(区役所西庁舎10階)、企画課(同本庁舎6階)でご覧になれます。



ご意見と区の考え方の一部を紹介

ご意見	区の考え方
三原台2丁目用地の多機能型施設に、15歳以上でも利用できる医療型ショートステイを開設してほしい。	15歳以上でも利用できる医療的ケアに対応したショートステイの整備に向け、調整を進めます。
ひきこもり状態にある方の家族支援は重要だ。訪問支援以外の取り組みも進めてほしい。	「あすはステーション」では、家族からの相談を受けるほか、懇談会を開催し、寄り添った支援を実施していきます。

子どもたちから(52件(26名))

ご意見	区の考え方
タブレットパソコンを持ち運びやすく、壊れにくいものにしてほしい。	7年度に新しくする予定です。今よりも扱いやすく、壊れにくいものにします。
大江戸線に新しい駅ができれば、区民が便利に通学・通学ができると思った。	延伸予定地域のまちづくりや、延伸に必要な準備金の積み立てなどを計画的に進めます。

